



2010年11月

■Illustrator制作に関するご注意点

- ①原稿データは必ず**CMYK形式**（4色・プロセスカラー）の**バージョンCS2までのEPS保存**で、プレビューは「**Macintosh（8-bitカラー）**」を選択、オプションは「**配置した画像を含む**」と「**サムネールを作成**」に**チェック**して下さい。特色やRGBで入稿された場合、CMYKに自動変換しますので、色の保証は致しかねます。
- ②フォントは**必ず全てアウトライン**を取って下さい。MOまたはCD-Rにはフルアウトラインデータのみを入れて下さい。
- ③原稿は特に指示がある場合を除き、必ず**実線の囲いケイ**（線幅1ミリ（2.835pt）以下0.07ミリ（0.2pt）以上の矩形）を入れて下さい。また、原稿サイズ内に囲いケイの外側を入れ込んで下さい。
- ④事故の元になりますので、**孤立点（アンカーポイント）、ガイドライン、トリムマークなどの不要なオブジェクトは必ず削除**して下さい。断ち切りトンボは必要ありません。また、広告ケイの外に注釈なども入れないで下さい。
- ⑤画像データは埋め込まず、**必ずリンク（配置）**させて下さい。
- ⑥バック全体に色を敷く場合は幣紙規定により、アミ点を40%以下に、ベタ窓は広告全体の50%以下にして下さい。（画像についても基本的にはベタ扱いですが、表現等の問題でこの範囲を超える場合は、担当者にご相談下さい）
- ⑦**物理的な最小文字級数は7級（4.96pt）**です。7級以下は再現できない場合があります。
- ⑧一般の商業印刷と違い新聞専用の高速輪転機で印刷しますので、全体的に色が沈みます。色指定は若干薄めにして下さい。
- ⑨黄バック（Y100%、M20%+Y20%）などにスミ文字をのせる場合、基本的に**ヌキ（下の地色が上のオブジェクトで切り抜かれる）**で制作してください（ただし、見当ズレにより多少白い線が出る場合があります）。新聞印刷の特性上、ノセにすると下の地色の影響を受けやすい場合があります。
- ⑩QRコード等を掲載される場合は、見当ズレの原因により、コードの認識が阻害される恐れがありますので、必ず**単色（BK100%）**で制作して下さい。

■Photoshop制作に関するご注意点

- ①写真データは必ず**CMYK形式のEPS保存**で、EPSオプションはプレビュー：**Macintosh(8bit/pixels)**、エンコーディング：**バイナリ**、チェックボックスには**チェックなし**で保存して下さい。
- ②写真データの画像解像度は**実寸で300dpi程度**にして下さい。写真データのサイズや解像度のオーバークオリティはデータが重くなりますので避けて下さい。
- ③コート紙等に比べ新聞製版の特性上、写真データは暗くなったり、くすんだりする傾向があります。特にクオリティを求められる写真は、データ内ではアタリ（72～100dpi程度）とし、ポジまたはプリントを同時に搬入して下さい。
- ④インクの総使用量を250%以上にするのは避けて下さい。つぶれ、汚れの原因になります。

■その他のご注意点

- ①**色校正紙は出ません。完全データ搬入**となります。